

2019年3月期 第2四半期
決算補足説明資料

2018年11月13日

株式会社レアジョブ

1. 会社概要
2. 2019年3月期 第2四半期 実績概要
3. 2019年3月期 計画
4. 当社の目指す英語教育3.0と
スマートメソッド™コースについて
5. 中長期的な業績目標について

Appendix ビジネスモデルなど

1. 会社概要



Chances for everyone, everywhere.

新たな学びを得るチャンス。才能を開花させるチャンス。新しいなにかに出会えるチャンス。
レアジョブはこれらのチャンスをインターネットを通して、あらゆる人と場所に届けます。
そして世界中の人々が国境や言語の壁を越えて活躍できる社会を創造します。

日本人1,000万人を 英語が話せるようにする。

レアジョブ英会話は、あなたが英語が話せるようになるまでつきそいます。
ともに学ぶ大勢のユーザー様がいます。
講師たちはあなたのためを思っています。
困ったときは私たちスタッフを頼ってください。

仲間がいる。だから頑張れる。だから続く。だから伸びる。
日本人が世界中の人からより必要とされる日を、
いち早くつくりたいと考えています。

株式会社 レアジョブ



グループビジョン

Chances for everyone, everywhere.

サービスミッション

日本人1,000万人を英語が話せるようにする。

会社概要

設立 2007年10月18日
資本金 565,747千円（2018年9月末現在）
所在地 東京都渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル2F
事業所 東京本社 関西支社 中部支社 九州支社

連結子会社

RareJob Philippines, Inc.
ENVIZION PHILIPPINES, INC.
GOLA English Tutorial Inc.
RIPPLE KIDS EDUCATIONAL SERVICES, INC.

取締役

代表取締役社長	中村 岳
取締役副社長	藤田 利之
取締役	安永 成志
社外取締役	君和田 卓之
社外取締役	三原 宇雄*
社外取締役	成松 淳*
社外取締役	五十嵐 幹*

(*監査等委員)

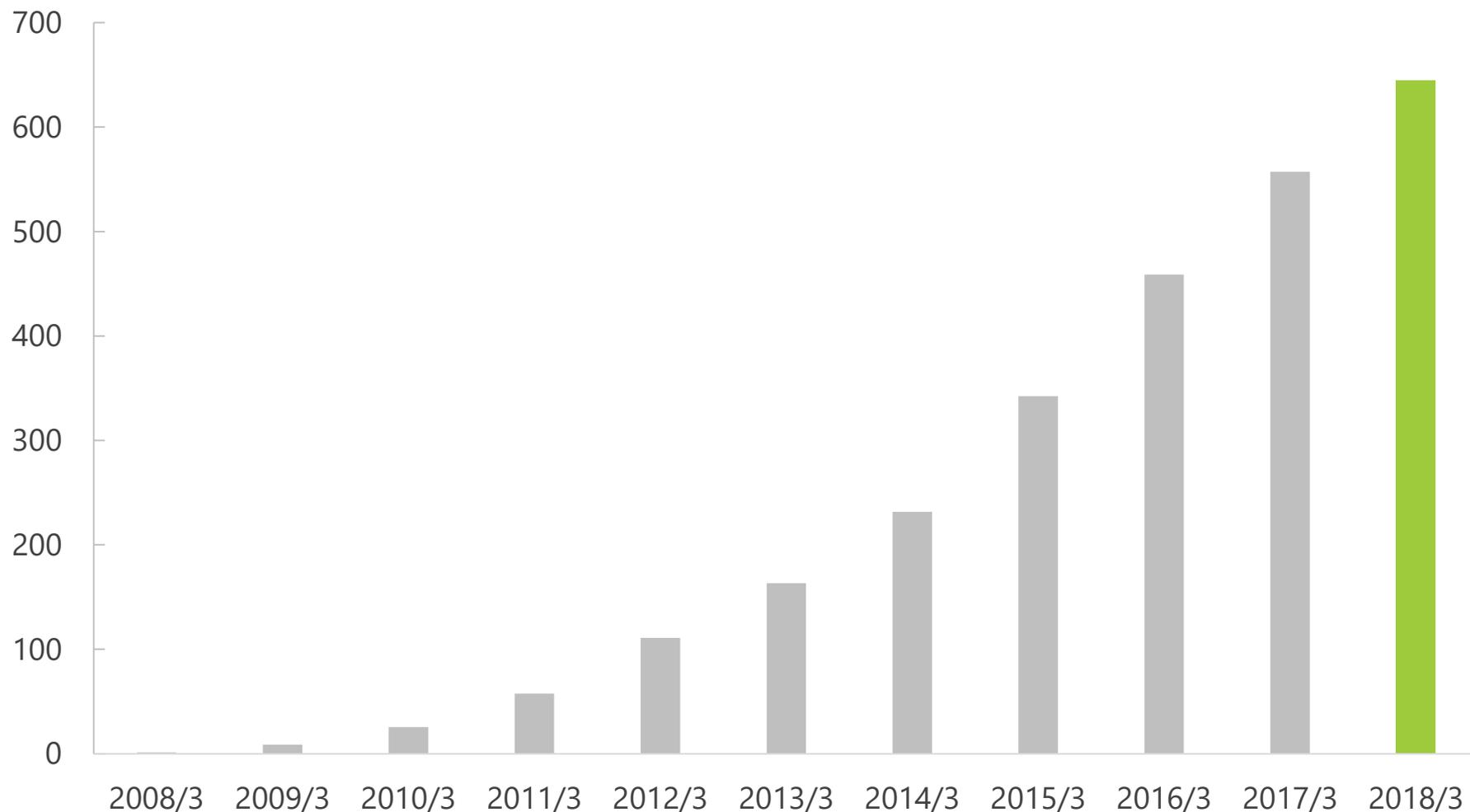
(注) 連結子会社であった株式会社リップル・キッズパークは2018年11月1日を効力発生日として吸収合併いたしました。



累積無料会員**70万人**以上の
オンラインのマンツーマン英会話レッスン
開講時間は**早朝6時～深夜1時**
採用率**1%**のフィリピン人講師**4,000名**

累積無料会員は順調に増加。直近では70万人を突破

(単位：千人)



主な提供サービス一覧

個人

法人

教育機関

レアジョブ英会話



- ・ 日常英会話コース
- ・ ビジネス英会話コース
- ・ 中学・高校生コース

スピーキングテスト

学習カウンセリング



リップルキッズパーク ripple kidspark

子ども専門オンライン英会話

オフラインサービス

レアジョブ本気塾



短期集中で
成果を伸ばす
英会話プログラム



スマートメソッド™ コース



オンライン完結
成果保証型英会話プログラム

オフラインセッション

研修担当者向けオプション

レアジョブ英会話留学

成果を出すことにこだわった
海外留学プログラム

授業・講座などの
一斉導入

授業内で
マンツーマンレッスン



留学プログラムなどの
個別利用

課外での
レッスン受講



4技能に対応した
学校専用の豊富な教材



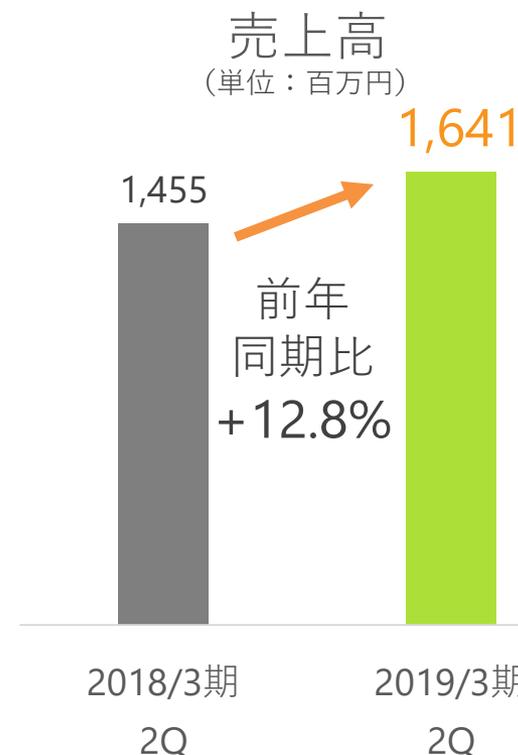
2. 2019年3月期 第2四半期 実績概要

前年同期比で増収減益。計画に対し順調に進捗

- レアジョブ英会話の売上が、昨年11月のブラジル事業撤退による売上減を上回って増加し、前年同期比で増収
売上高は四半期ベースで過去最高
- 利益面では中長期的な成長に向けた先行投資を行っており減益

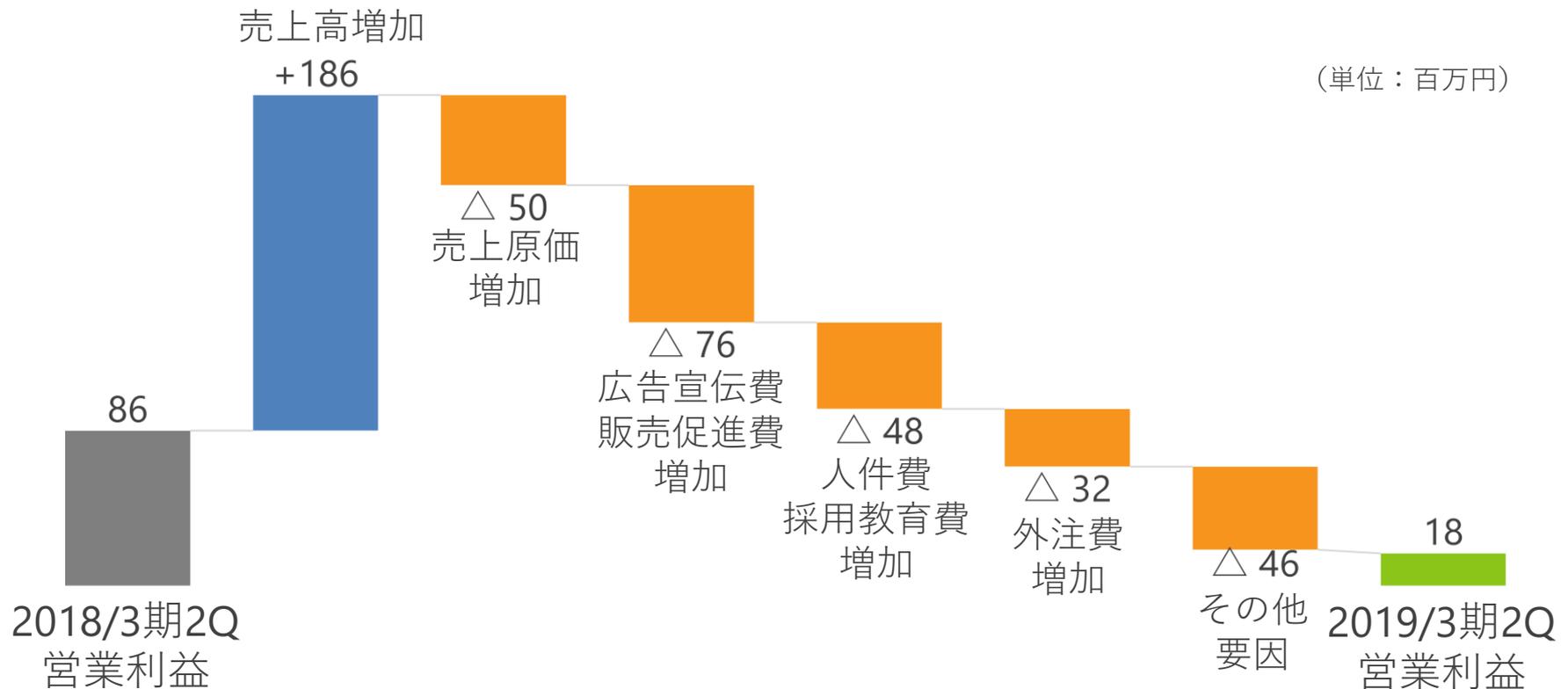
(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 実績	前年 同期比 増減率
売上高	1,455	1,641	+12.8%
営業利益	86	18	△ 78.7%
経常利益	73	21	△ 70.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	1	△ 95.8%



中長期的な成長に向けた先行投資により減益

- 前年同期比で広告の投下を増やしたため広告宣伝費が増加したものの、ブラジル事業撤退に伴う売上減を上回って売上高が増加
- 積極的な採用活動により人件費及び採用教育費が増加



第2四半期において財務状態に大きな変動はなく、自己資本比率は52.8%と前期末からほぼ横ばい

(単位：百万円)

資産	2018年3月末	2018年9月末	増減
流動資産	1,470	1,486	+15
固定資産	719	794	+74
資産合計	2,190	2,280	+90

負債・純資産	2018年3月末	2018年9月末	増減
負債	1,021	1,070	+ 49
純資産	1,168	1,210	+ 41
負債・純資産合計	2,190	2,280	+90

自己資本比率	53.2%	52.8%	△ 0.4pt
--------	-------	-------	---------

* 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を適用後の表示（2018年3月末は遡って適用）

個人、法人向けサービスは投資を行いつつも収益貢献
レアジョブ本気塾、教育機関向けは先行投資の段階

収益貢献

個人向けサービス



レアジョブ英会話



法人向けサービス

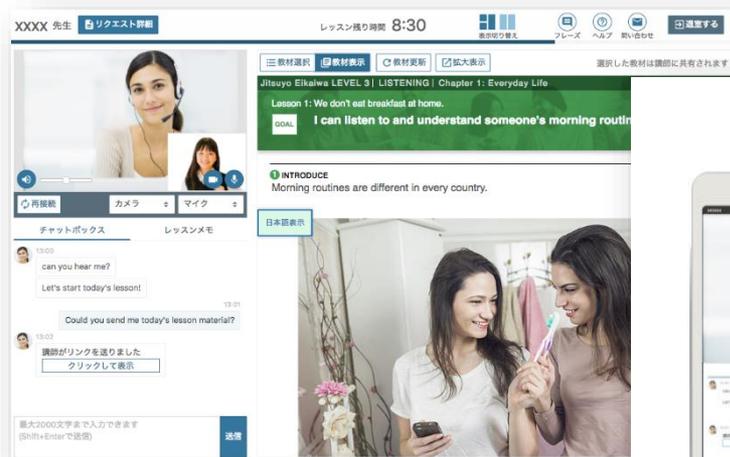
先行投資



教育機関向けサービス

レッスンルーム対象会員を拡大 Skypeなしでレアジョブ英会話の全機能を利用可能に

- PCブラウザやスマホアプリ内でレッスン受講が可能となる
「レッスンルーム」対象会員を新規に登録した全会員に拡大し、
レアジョブ英会話の全機能をSkypeなしで利用可能に
- 利便性の向上によって満足度の向上を見込むほか、レッスンデータを
取得・活用し、よりスピーキング力向上に繋がる新サービスの開発へ



レアジョブ英会話のレッスンの発話データを解析 テクノロジーを活用した新サービスの研究を進める

- データやAI等のテクノロジーを活用し、「成果」をより短期間で効率的に提供できる新サービス開発に向け、研究・開発中

英語話者の会話における単語出現順* 当社レッスンにおける単語出現順

出現順	単語	当社レッスン 出現順
1	the	2
2	of	12
3	and	8
4	to	3
5	a	5
6	In	11
7	is	16
8	you	6
9	are	27
10	for	19
11	that	14
12	or	22
13	it	10
14	as	53
15	be	4

出現順	単語	英語話者 出現順
1	I	28
2	the	1
3	to	4
4	be	15
5	a	5
6	you	8
7	so	52
8	and	3
9	yeah	1951
10	it	13
11	in	6
12	of	2
13	yes	793
14	that	11
15	Ok	2265

Youは英語話者、当社会員共に使うが、Iは当社会員の方が多く使う

当社会員はsoの利用頻度が高いが、asの利用頻度が低い

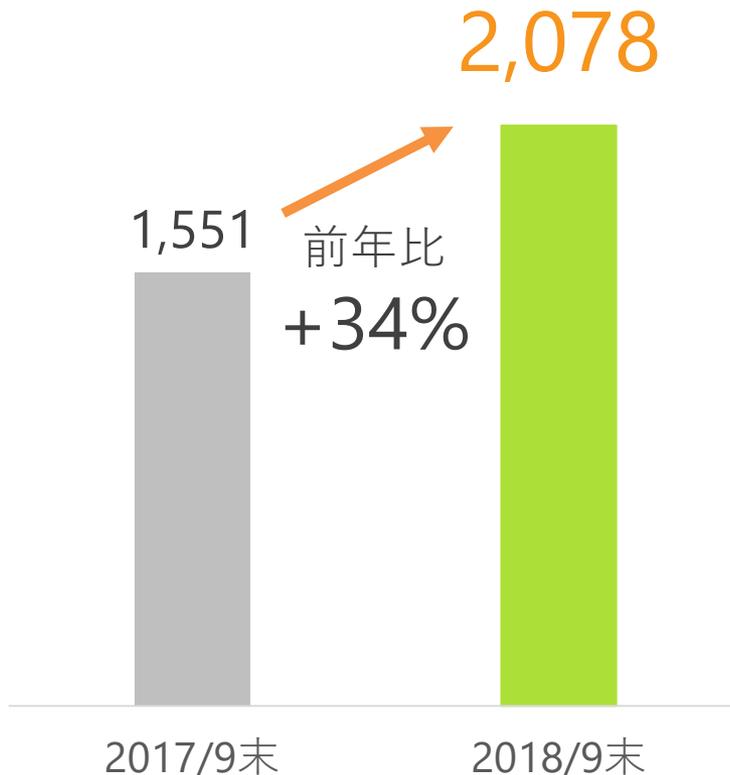
yeah, yes, okなどの言葉が当社会員は英語話者に比べ極端に多い

売上及び導入企業数は堅調に増加 新サービス「スマートメソッド™コース」の提供開始

累計導入企業数

(単位：社)

導入企業様例



売上及び導入学校数は引き続き増加 2020年の教育改革に向けて、新サービスを開発

- 2020年の教育改革に向け、ライティング添削とオンラインレッスンを組み合わせた Writing(Basic)&Speaking サービスを開始

導入事例

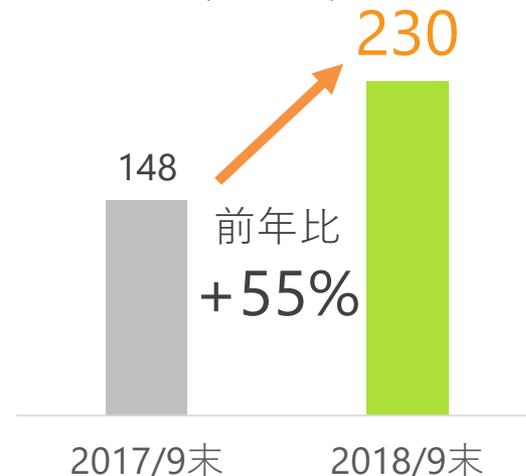
夕張市立ゆうばり小学校



授業の中でクラスの全生徒へ
2対1のレッスンを同時提供

累計導入学校数

(単位：校)



導入学校・自治体様例

佐賀県上峰町、北海道夕張市
東京大学大学院、聖光学院中学校高等学校
豊島岡女子学園中学校、同志社中学・高等学校
静岡県立静岡城北高等学校など

3. 2019年3月期 計画

創業以来11期連続の増収を計画

- 売上拡大に注力し、創業以来11期連続増収の連結売上高35億円を計画
売上高成長率は2018年3月期の+14.8%を上回る+17.9%を見込む
- 長期的な業績拡大のための積極投資を継続
- 現状では計画通りに進捗。5月14日公表の計画から変更なし

(単位：百万円)	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	前期比 増減率	2019年3月期 2Q累計	進捗率
	売上高	2,968	3,500	+17.9%	1,641
営業利益	130	50	△ 61.6%	18	36.7%
経常利益	90	30	△ 66.7%	21	71.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	0	△ 100.0%	1	-

販売体制を強化し、売上拡大に注力しつつも、 長期的な成長に向けたサービス開発や品質向上へ

レアジョブ英会話

教材の改定や講師トレーニングの強化による品質向上
レッスン供給センターの稼働率を高め、収益性の改善

個人

ユーザー体験の改善や、マーケティングの強化による会員獲得
新機能「レッスンルーム」対象会員の拡大による利便性向上

法人

九州支社を設立、営業体制の強化
スマートメソッド™コースの提供開始

教育機関

提携先のZ会グループ等との連携を強化
ライティング添削等の新サービス提供開始

本気塾

短期集中プログラムのサービス品質向上
多店舗展開を見据えた事業基盤の構築

その他

M&Aを含む他社との提携などの推進

4. 当社の目指す英語教育3.0と スマートメソッド™コースについて

「成果」を求めるニーズの拡大

- 英会話教室に「英語を話す場」という機会ではなく「英語を話せるようになる」という成果を求めるニーズが拡大

市場規模拡大の背景*

グローバル化の進展

訪日外国人客数の増加

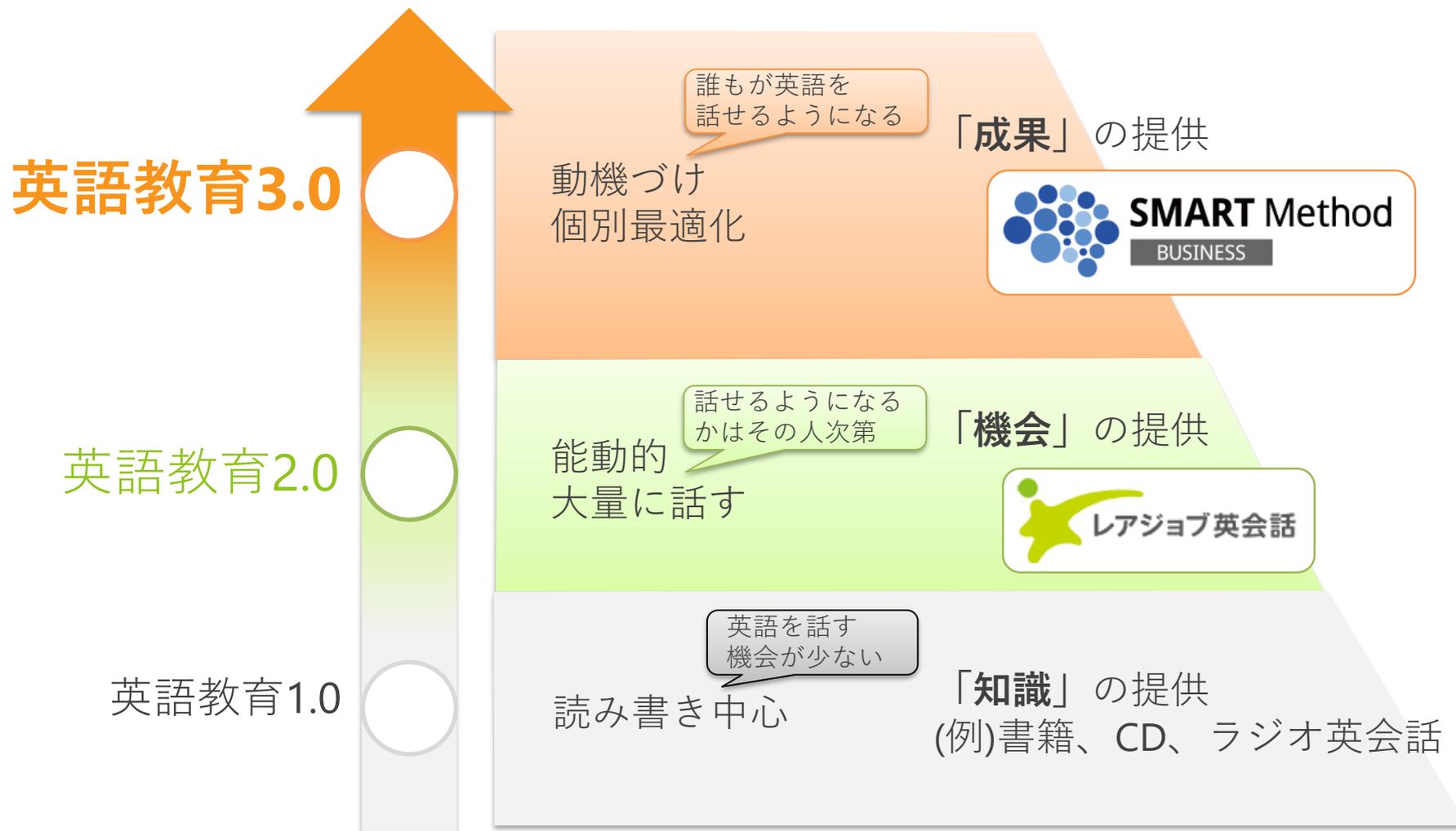
学校における
英語教育の変化

日本においても英語を話せないことで
人生や仕事の選択が限られる、
あるいは好機を逃してしまう状況に

英会話教室に
「英語を話せるようになる」
という「成果」を求める

*参考：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」

誰もが英語を話せるようになる「英語教育3.0」



成果保証型の「スマートメソッド™コース」提供開始 英語を話せるようになるという「成果」を提供

- オンライン完結 成果保証型英会話プログラム
「スマートメソッド™コース」を10月から提供開始*
- 受講者のスピーキング力アップを保証し、
知識や機会ではなく、英語を話せるようになるという「成果」を提供



* 「スマートメソッド™」は、現在商標出願中

約4か月でレアジョブレベル1アップを保証し、 全プログラム費用は45万円



SMART Method

BUSINESS

受講期間

約4か月間 (16週間)

価格

450,000円 (税抜) / 1コース受講・全プログラム費用含む

保証内容

レアジョブレベル1アップ (CEFR-J* 1レベルアップ相当)

※レッスン受講率などの一定の受講条件を満たしてコースを
修了したにもかかわらずレベルが向上しなかった場合は、
レベル向上まで必要なサービスを無償で継続提供

受講対象者

レアジョブレベル4～7 (CEFR-J A2.1～B1.2相当)

※レベル7は来年度から提供予定

プログラム内容

オンライン英会話レッスン全80回

スピーキングテスト

日本人専属コンサルタントによるサポート

ホームワーク教材

オリジナル学習管理システム

*CEFR-Jとは、CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) を日本の英語教育に応用すべく
投野由紀夫教授 (東京外国語大学) を中心に開発された枠組みのこと

(参考) レアジョブレベル

RareJob LEVEL		CEFR-J	内容	
上級	Advanced	LEVEL 10	C1	ネイティブに近いレベルです。
	High-Intermediate	LEVEL 9	B2.2	流暢かつ正確な英語を話せます。
LEVEL 8		B2.1	英語での議論や会議をリードできます。	
中級	Intermediate	LEVEL 7	B1.2	詳細な説明ができ、会議に難なく参加できます。
		LEVEL 6	B1.1	興味のあることについて、会話が続きます。
	High-Beginner	LEVEL 5	A2.2	身近なトピックで会話ができます。
		LEVEL 4	A2.1	海外旅行に必要な英語を話せます。
初級	Beginner	LEVEL 3	A1.3	身近な話題について受け答えができます。
		LEVEL 2	A1.2	自分や家族の簡単な紹介ができます。
	LEVEL 1	A1.1	英語であいさつができます。お礼や謝ることができます。	

成果を保証するための3つの特徴

個人最適化 正しい学習効果を実現する独自のメソッド



- 独自のメソッド「スマートメソッド」レッスンでは、毎回のレッスンにおいて、講師が受講者のスピーキングにおける「できる・できない」を客観的な指標に基づいて分析し、個人に最適化した指導を行います。

日本人専属コンサルタント 正しい学習方法や継続をサポート



- コンサルタントは受講者のスピーキング力向上にフォーカスし、学習スケジュールの管理だけでなく、学習上の改善点をマインドとスキルの両面から多角的に分析し、具体的かつ客観的にアドバイスします。

オンライン完結 オリジナル学習管理システム



- レッスンやコンサルティングの受講、スピーキングテストの受験、学習スケジュールの作成やコンサルタントへの共有などすべてオンラインで行うことができます。
- 人事担当者向け専用サイトも提供しており、受講者の学習進捗をリアルタイムで確認することができます。

東京外国語大学 投野由紀夫教授が監修 スピーキング力が必ず飛躍的に上がると推薦・評価

推薦コメント

スマートメソッド™は最先端の外国語学習の考え方を大胆に取り入れた画期的な英会話習得メソッドです。アセスメントから授業内容まですべてCEFR/CEFR-Jに対応しており、このようなCEFRをしっかりと研究して設計されたプログラムが英語学習者に利用されれば、必ず日本人の英語発信力は飛躍的に上がるでしょう。大いに期待を持って推薦したいと思います。



東京外国語大学大学院 総合国際学研究院
投野 由紀夫 教授

社外モニター受講者4名全員のスピーキング力が向上* 「成果」を提供する英語教育3.0のフェーズへ

受講前

A様

レベル 3

身近な話題について受け答えができます

B様

レベル 4

海外旅行に必要な英語を話せます

C様

レベル 4

海外旅行に必要な英語を話せます

D様

レベル 6

興味のあることについて、会話が続きます

受講後

レベル 6

興味のあることについて、会話が続きます

レベル 8

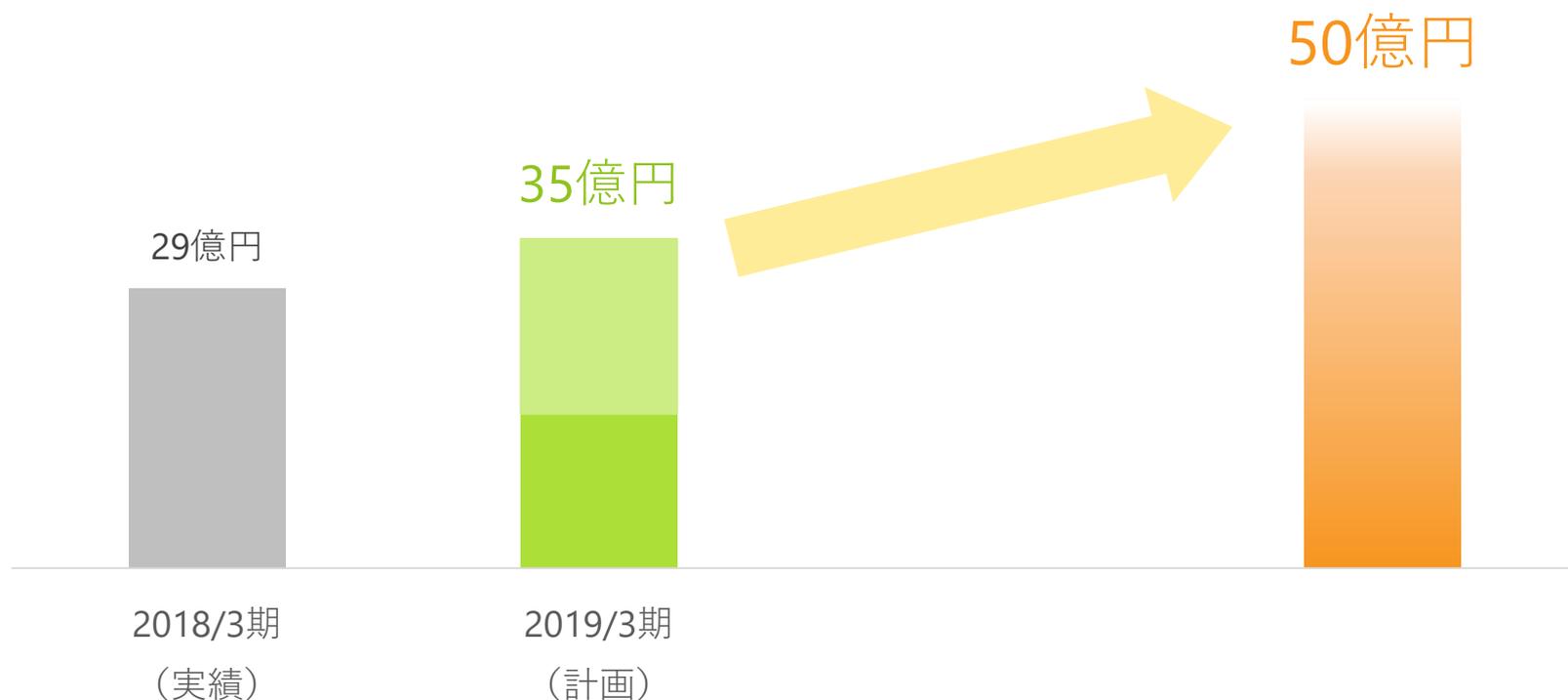
英語での議論や会議をリードできます

*社外モニター受講者様の都合によりコースを修了しなかった方1名を除く
CEFRに基づく当社独自のレベルチェックテストの結果による

5. 中長期的な業績目標について

早期の連結売上高50億円の実現へ

- 英語教育3.0の実現に向けた新サービスの研究・開発への取組みや、サービス提供のための事業体制及び営業体制の構築の早期化、今後の事業拡大に向けたM&Aなど、中期的には積極的な投資を継続
- 上記の取組みにより、早期の連結売上高50億円の達成を目指す



今後の事業拡大に向け、 以下の領域の積極的なM&Aを推進

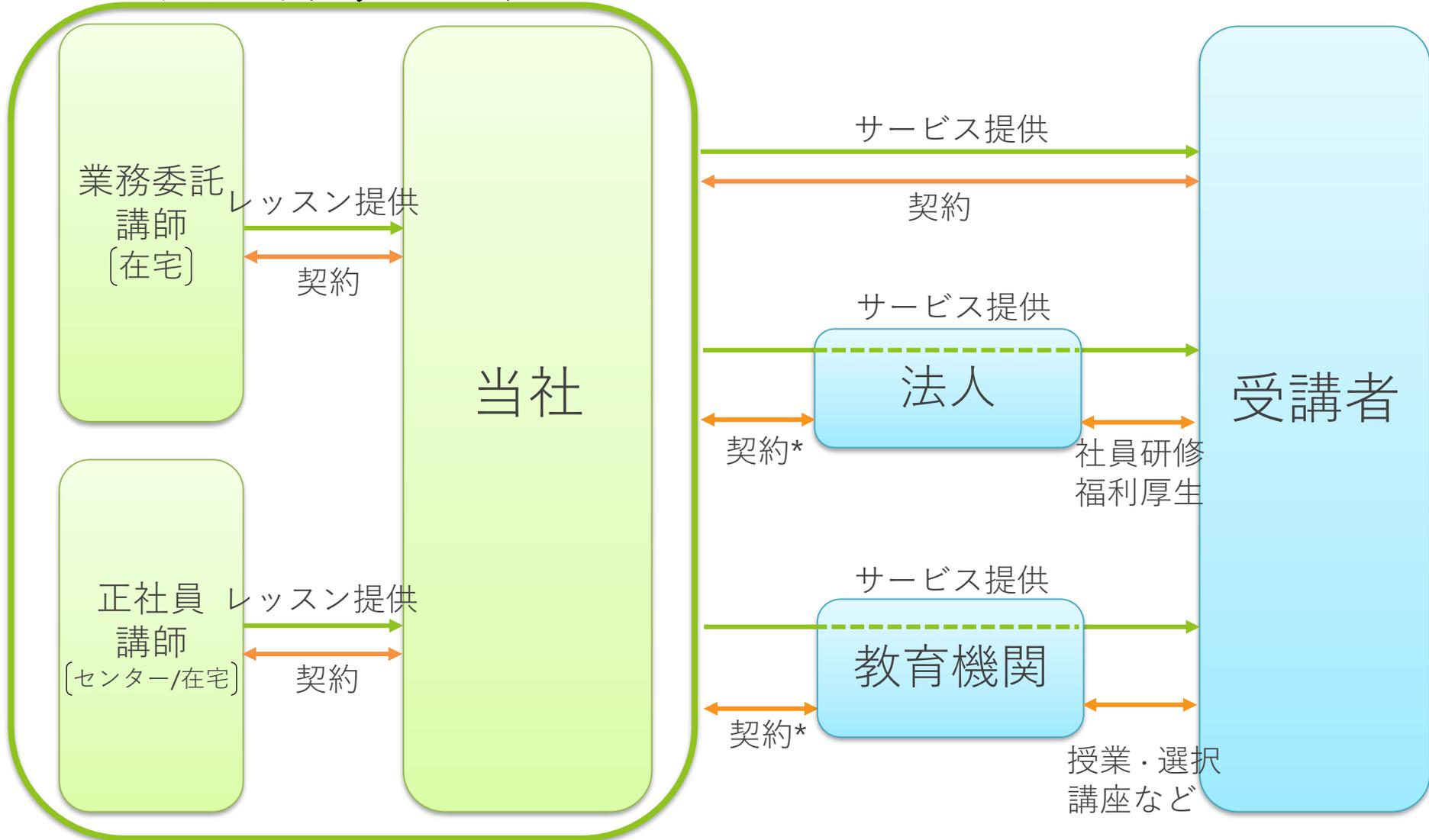


Appendix ビジネスモデルなど

- ビジネスモデル全体像
- 業界環境

ビジネスモデル全体像

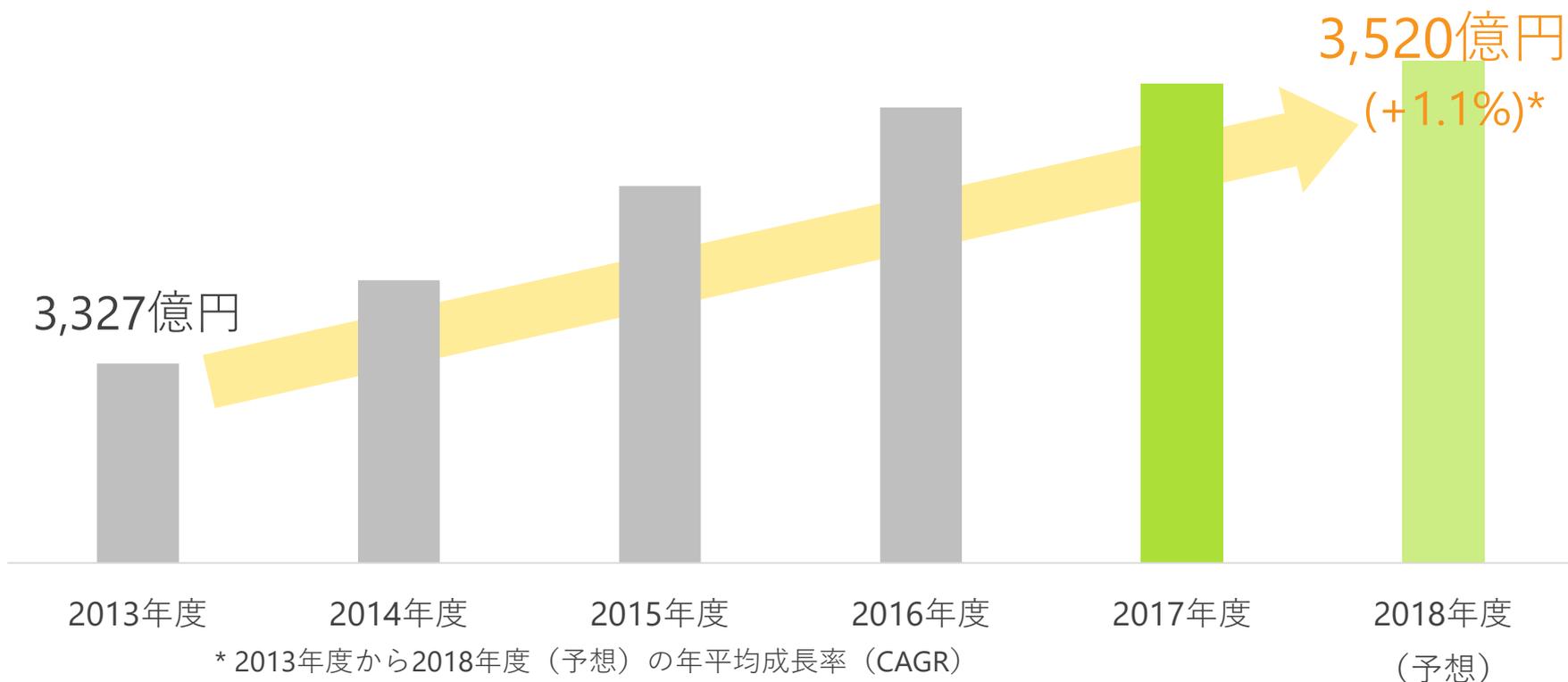
レアジョブグループ



*当社と受講者が直接契約を結ぶ場合もある

英語学習ニーズは拡大

- グローバル化の進展や、訪日外国人観光客数の増加、学校における英語教育の変化等により、外国語教室の市場規模は拡大
英語学習ニーズは高まっている状況

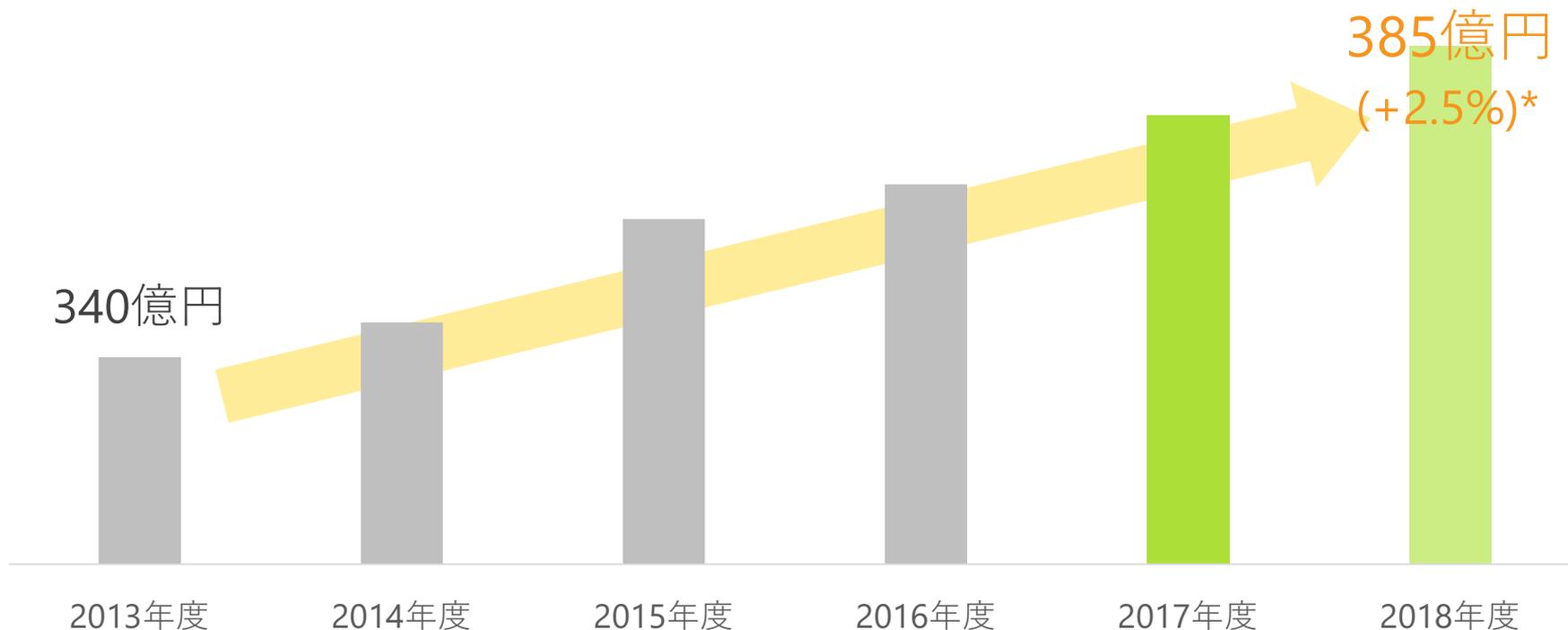


* 2013年度から2018年度 (予想) の年平均成長率 (CAGR)

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」
外国語教室全体市場

マンツーマンレッスン市場は 外国語教室全体の市場と比べ、より拡大

- マンツーマン形態の外国語教室の市場規模の年平均成長率は+2.5%と、外国語教室全体の+1.1%と比べ拡大幅は大きい*



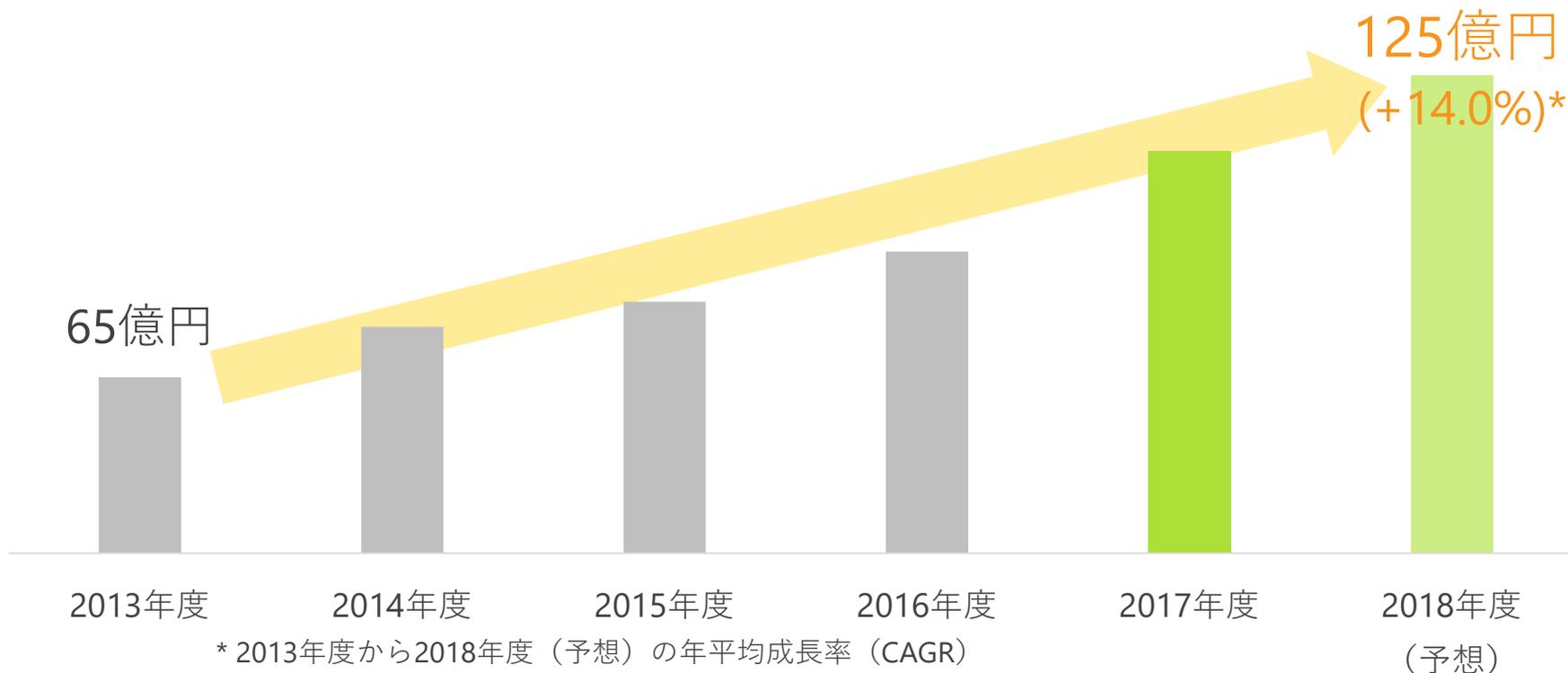
* 2013年度から2018年度 (予想) の年平均成長率 (CAGR)

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」

成人向け外国語教室市場のうち、マンツーマンレッスン市場

当社を含むオンライン英会話が大部分を占める e-learning市場は一層拡大

- 当社を含むオンライン英会話が大部分を占めるe-learning市場の市場規模の年平均成長率は+14.0%と、外国語教室全体の+1.1%と比べ拡大幅は大きい*



* 2013年度から2018年度（予想）の年平均成長率（CAGR）

出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2018」
e-learning市場

学校における英語教育は2020年から大きく変化

- 学習指導要領の改訂により、学校における英語教育は大きく変化
- 大学受験だけでなく一部高校入試等においてもスピーキングテストを行う方針であることが報じられるなど、教育現場は対応を迫られる状況

現在

2020年～
(段階的に2018年～)

小学校

5・6年生から外国語活動必修
(週1コマ)



3・4年生から外国語活動必修 (週1コマ)
5・6年生から英語の「教科化」 (週2コマ)

中学校

4技能*の総合的育成



授業は英語で行うことを基本とし、
内容に踏み込んだ言語活動を重視

高校

授業は英語で行うことを基本



授業を英語で行うとともに、
発表・討論・交渉など言語活動を高度化

大学
入試

センター試験など
(リーディング、リスニング)



大学入学共通テスト
英検などの外部検定試験の活用
(**スピーキングを含めた4技能を測定**)

*4技能とは、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能のこと
文部科学省「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」などから作成

注意情報

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レアジョブ IR担当

TEL : (03) 5468-7401

MAIL : ir@rarejob.co.jp